

虐待兆候発見報告書

入居者氏名	
要介護度	
認知症レベル	

報告年月日 _____
報告者氏名 _____

大項目	No	虐待兆候 事例	虐待を疑われる職員氏名	具体的な言動 (いつ、どこでは必ず記入)
一般的な兆候	1	入居者 (家族) におびえているような様子が伺われる。		
	2	かきむしり、噛みつき、ゆすり等が観察される。		
	3	不規則な睡眠 (悪夢、眠ることへの恐怖、過度の睡眠) が観察される。		
	4	身体を萎縮させる。		
	5	おびえる、わめく泣く叫ぶなどの症状が観察される。		
	6	食欲の変化が激しく摂食障害 (過食・拒食) が観察される。		
	7	自傷行為が観察される。		
	8	無力感、あきらめ、投げやりな言動が目立つ。		
	9	職員が、勝手に入居者の身体拘束をしている (床達含む) のを目撃した。		
	10			
高齢者の身体に外傷が生じ、又は生じるおそれのある暴行を加えること。	1	身体に原因不明の外傷がある。(小さなあらゆる外傷含む)		
	2	職員が入居者に殴る、蹴る、突き飛ばす等の暴行を目撃した。		
	3	職員の介護が著しく乱暴に思えた。		
	4	衣類に乱れがあったり、適切に着替えられていない。		
	5			
高齢者を衰弱させるような著しい減食又は長時間の放置その他の高齢者を養護すべき職務上の義務を著しく怠ること。	1	過去3ヶ月で5%以上の体重減少が観られた。		
	2	睡眠を除き3時間以上ベッド及び車いすで放置されているの目撃した。		
	3	褥瘡ができています。		
	4	拘縮が進行している。		
	5	陰部の爛れがひどくなってきている。		
	6	排便が大量に貯まっていることがある。		
	7	排尿がオムツが重くなり、外に漏れている。		
	8	口臭がひどくなってきている。		
	9	整容が十分されていない。		
	10	汚れたままの下着を身につけていることが多い。		
	11	不自然に空腹を訴えることが多い。		
	12	入居者がナースコールを押せないような状況になっている。		
	13			
高齢者に対する著しい暴言又は著しく拒絶的な対応その他の高齢者に著しい心理的外傷を与える言動を行うこと。	1	職員が暴言をはいているのを聞いた。		
	2	職員が入居者に乱暴な言葉で対応するのを聞いた。		
	3	職員が入居者に叱責しているのを聞いた。		
	4	職員が理由もなく入居者を無視しているのを目撃した。		
	5	職員が入居者の前で性的な発言をしているのを聞いた。		
	6	職員が入居者を侮辱するのを聞いた。		
	7			
高齢者にわいせつな行為をすること又は高齢者をしてわいせつな行為をさせること。	1	職員が入居者にわいせつな行為をしているのを目撃した。		
	2	職員が入居者にわいせつな行為をさせているのを目撃した。		
	3	職員が入居者にわいせつな言葉をはくの聞いた。		
	4	不自然な歩行や、座位を保つことが困難になってきた。		
	5	肛門や、性器からの出血や傷が観られる。		
	6	生殖器の痛み、痒みを訴える。		
	7			
高齢者の財産を不当に処分することその他、当該高齢者から不当に財産上の利益を得ること。	1	職員が入居者の金品を盗むのを目撃した。(床達含む)		
	2	職員が入居者の印鑑、通帳を施設外に持ち出しているのを目撃した。		
	3	職員が入居者に不当な金品を要求しているのを聞いた。		
	4	入居者や家族から金品が無くなったとの訴えがある。(少額でも)		
	5			